

腫瘍医学

論文

A 欧文

A-a

1. S Okada, D Muraoka, K Yasui, I Tawara, A Kawamura, S Okamoto, J Mineno, N Seo, H Shiku, S Eguchi, H Ikeda.: T cell

B 邦文

B-c

1. 日本臨床腫瘍学会,日本がん免疫学会,日本臨床免疫学会：がん免疫療法ガイドライン. 金原出版：2023.
2. 日本遺伝子細胞治療学会,藤堂具紀,池田裕明：遺伝子治療開発研究ハンドブック第2版. 株式会社エヌ・ティー・エス：272-277, 2023.
3. 日本免疫学会,鳥越俊彦,池田裕明：がん免疫療法最前線. 株式会社 日本医学出版：46-50, 2023.

B-c-2

1. 安井潔,江原 大輔,岡本幸子,峰野純一,村岡輔,小郷尚久,浅井章良,室田浩之,池田裕明：腫瘍不均一性の克服へ向けた新規化合物のスクリーニング. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 27回: 157, 2023. ★◇
2. 池田裕明：固形がんに対するCAR-T細胞療法の開発. 第33回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会テキスト：171-173, 2023. ★◇
3. 中司交明,村岡大輔,安井潔,原田直純,澤田晋一,秋吉一成,碓秀樹,永安 武,池田裕明：腫瘍関連マクロファージ指向性 CHPナノゲルの標的分子の検索. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第27回：95, 2023. ★◇
4. 江原大輔,安井 潔,村岡大輔,岡本幸子,池田裕明：フェロトーシス現象を利用した養子免疫療法における腫瘍内不均一性の克服. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第27回：103, 2023. ★◇
5. とう思拓,村岡大輔,中司交明,安井潔,原田直純,澤田晋一,秋吉一成,池田裕明：治療標的抗原発現が不均一な腫瘍に対する効果的な細胞輸注療法を担うT細胞の特徴解析と機構解明. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第27回：120, 2023. ★◇
6. 中司交明,村岡大輔,安井潔,原田直純,澤田晋一,秋吉一成,永安 武,池田裕明：腫瘍関連マクロファージ指向性 CHPナノゲルの標的分子の検索. 日本癌学会総会記事 第82回：123, 2023. ★◇
7. とう思拓,村岡大輔,中司交明,安井潔,原田直純,澤田晋一,秋吉一成,池田裕明：治療標的抗原発現が不均一な腫瘍に対する効果的な細胞輸注療法を担うT細胞の特徴解析と機構解明. 日本癌学会総会記事 第82回：241, 2023. ★◇
8. 安井 潔,江原大輔,岡本幸子,峰野純一,村岡大輔,小郷尚久,浅井章良,室田浩之,池田裕明：腫瘍不均一性の克服へ向けた新規化合物のスクリーニング. 日本癌学会総会記事 第82回：242, 2023. ★◇
9. 江原大輔,安井潔,村岡大輔,岡本幸子,室田浩之,池田裕明：フェロトーシス誘導材を用いた腫瘍不均一性を克服する養子免疫療法の開発. 日本癌学会総会記事 第82回：242, 2023. ★◇

論文研究業績集計表

論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2023	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0	10	13	14

学会発表数一覧

	A-a	A-b シンポジウム	A-b 学会	合計	B-a	B-b シンポジウム	B-b 学会	合計	総計
2023	0	0	0	0	2	0	8	10	10

論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2023	0.071	0.333	1.000	0.333

Impact Factor値一覧

	Impact Factor	教員当たりのImpact Factor	論文当たりのImpact Factor
2023	4.500	1.500	4.500